

未来を担うリーダーたちへ

「問い合わせ続ける力」とは？

Seto
Kinya

瀬戸欣哉

株式会社 LIXIL 取締役 代表執行役社長 CEO

私は過去25年間を経営者としてキャリアを重ねてきました。その間、常に自分に課してきた仕事は、その時に一番重要な問い合わせ探し、その答を実行することでした。誰かに与えられた問い合わせを見つけるのではなく、自分の頭で一番大切な問い合わせを考え、その問い合わせの答を考え抜き、そして実行すること。

これはまさに武蔵で過ごした6年の教育から得た習慣でした。未来を担う皆さんには武蔵生らしく、一方的に与えられた話を聞くよりも愚劣でも良いから質問をして欲しいと思います。

本講演では主に皆さんからのさまざまな問い合わせに一問一答形式で答えることで、経営者というキャリアがどんなものであるかを感じてもらえると幸甚です。

1973年、武蔵中学・高等学校に入学。バスケットボール部に所属。
東京大学経済学部へと進学。

1983年に住友商事に入社。

1994年に米ダートマス大学MBA（経営学修士）入学。

その後、資材のインターネット販売会社MonotaRoを創業し、リーマンショック後2016年までの期間に日本では1位、世界では7位の成長率を実現。
MonotaRoを含め、国内外で10社以上を起業。

2016年に、世界150カ国以上で事業を展開する住宅設備・建材メーカーであるLIXILの社長兼CEOに就任。

2018年に創業家と対立して解任されるも、2019年株主総会でCEOに復帰。

A1. パジャマで学校に行ってもバレなかった